

# 定期点検結果報告書

建築基準法第12条第4項の規定に基づく点検結果を報告します。

奈良市長 様

令和 年 月 日

## 【点検対象建築物】

【所在地】 奈良市  
【名称のフリガナ】  
【名称】 棟番号  
【主要用途】  
【点検実施日】 令和 年 月 日

## 【建築物及びその敷地の概要】

【構造】  鉄筋コンクリート造 ( )  鉄骨鉄筋コンクリート造  
 鉄骨造 ( )  その他 ( )  
【階数】 地上 階 地下 階  
【敷地面積】 m<sup>2</sup>  
【建築面積】 m<sup>2</sup>  
【延べ面積】 m<sup>2</sup>  
【防火地域等】  防火地域  準防火地域  法22条地域  
 その他 ( )  指定なし  
【用途地域】

## 【点検による指摘の概要】

【指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし  
【指摘の概要】 調査結果図参照  
【改善予定の有無】  有 (令和 年 月に改善予定)  無  
【その他特記事項】  
.  
.  
.  
.  
.

## 代表となる点検者

勤務先 \_\_\_\_\_  
所在地 \_\_\_\_\_  
TEI : \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印  
資 格 建築士  
番 号 大臣登録 第 \_\_\_\_\_ 号

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 階 地下 階  
 【ロ. 建築面積】 m<sup>2</sup>  
 【ハ. 延べ面積】 m<sup>2</sup>  
 【ニ. 検査対象建築設備】  換気設備  排煙設備  非常用の照明装置  
 給水設備及び排水設備  防火設備

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 年 月 日 第 号  
 建築主事  指定確認検査機関 ( )  
 【ロ. 確認済証交付者】 昭和 年 月 日 第 号  
 【ハ. 検査済証交付年月日】  
 建築主事  指定確認検査機関 ( )  
 【ニ. 検査済証交付者】

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和 年 月 日実施  
 【ロ. 前回の検査】  実施 年 月 日報告)  未実施  今回初検査  
 【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】  有  無  対象外

【4. 換気設備の概要】

【イ. 無窓居室】  自然換気設備( 系統 室)  機械換気設備( 系統 室)  
 中央管理方式の空気調和設備( 系統 室)  
 その他( 系統 室)  無  
 【ロ. 火気使用室】  自然換気設備( 系統 室)  機械換気設備( 系統 室)  
 その他( 系統 室)  無  
 【ハ. 居室等】  自然換気設備( 系統 室)  機械換気設備( 系統 室)  
 中央管理方式の空気調和設備( 系統 室)  
 その他( 系統 室)  無  
 【ニ. 防火ダンパーの有無】  有  無

【5. 換気設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし  
 【ロ. 主な指摘の概要】  
 【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和 年 月に改善予定)  無

【6. 排煙設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】  階避難安全検証法( 階)  全館避難安全検証法 ( )  
 その他 ( )  
 【ロ. 特別避難階段の階段室又は付室】  吸引式( 区画)  給気式( 区画)  
 加圧式( 区画)  無  
 【ハ. 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー】  吸引式( 区画)  給気式( 区画)  
 加圧式( 区画)  無  
 【ニ. 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室】  吸引式( 区画)  給気式( 区画)  
 加圧式( 区画)  無  
 【ホ. 居室等】  吸引式( 区画)  給気式( 区画)  無  
 【ヘ. 予備電源】  蓄電池  自家用発電装置  直結エンジン  その他( )

【7. 排煙設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし  
 【ロ. 主な指摘の概要】  
 【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和 年 月に改善予定)  無

【8. 非常用の照明装置の概要】

【イ. 照明器具】  白熱灯( 灯)  蛍光灯( 灯)  LEDランプ( 灯)  
 その他( 灯)  
 【ロ. 予備電源】  蓄電池(内蔵形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)  
 蓄電池(別置形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)  
 自家用発電装置 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)  
 蓄電池(別置形)・自家発電装置併用 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)  
 その他( )

**【9. 非常用の照明装置の検査の状況】**

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし  
【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和 年 月に改善予定)  無

**【10. 給水設備及び排水設備の概要】**

【イ. 飲料水の配管設備】  給水タンク ( 基 m<sup>3</sup> )  貯水タンク ( 基 m<sup>3</sup> )  
 その他 ( )  
【ロ. 排水設備】  排水槽 (  汚水槽  雑排水槽  合併槽  雨水槽・湧水槽 )  
 排水再利用配管設備  その他 ( )  
【ハ. 圧力タンクの有無】  有  無  
【ニ. 給湯方式】  局所式  中央式  
【ホ. 湯沸器】  開放式燃焼器  半密閉式燃焼器  密閉式燃焼器  
 その他 ( )

**【11. 給水設備及び排水設備の検査の状況】**

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし  
【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和 年 月に改善予定)  無

**【12. 防火設備の概要】**

【イ. 避難安全検証法等の適用】  階避難安全検証法 ( 階 )  全館避難安全検証法  
 その他 ( )  
【ロ. 防火設備】  防火扉 ( 枚 )  防火シャッター ( 枚 )  
 耐火クロススクリーン ( 枚 )  ドレンチャージャー等 ( 台 )  
 その他 ( 台 )

**【13. 防火設備の検査の状況】**

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし  
【ロ. 主な指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和 年 月に改善予定)  無

**【14. 備考】**

## 報告書注意事項（建築設備）

（注意）

- ① 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。
- ③ この書類は、建築物ごとに、建築設備等の概要及び当該建築設備等の構造方法に係る検査結果について作成してください。
- ④ 1欄の「ニ」は、検査対象の建築設備について、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 2欄の「イ」及び「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の確認（建築基準法第87条の4及び同法第88条第2項の規定により準用して適用される同法第6条第1項に規定する確認を含む。以下この様式において同じ。）について、「ハ」及び「ニ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の完了検査について、それぞれ記入してください。
- ⑥ 2欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。
- ⑦ 3欄の「イ」は、検査が終了した年月日を記入し、「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の報告について記入して下さい。
- ⑧ 3欄の「ロ」は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑨ 3欄の「ハ」は、前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。
- ⑩ 4欄から11欄までは、検査の対象となっていない建築設備等の欄には記入する必要はありません。
- ⑪ 5欄の「イ」は、換気のための有効な部分の面積が居室の床面積の20分の1未満となる居室（建築基準法第28条第3項に規定する特殊建築物の居室を除く。）について、「ロ」は、建築基準法第28条第3項に規定する居室（特殊建築物の居室を除く。）を除く。）について記入し、それぞれ該当する室がない場合においては「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ハ」は、同項に規定する特殊建築物の居室について記入してください。
- ⑫ 17欄の「イ」、「ロ」及び「ホ」は、それぞれ該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「その他」の場合は併せて具体的な内容を記入してください。
- ⑬ 5欄、7欄、9欄及び11欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑭ 5欄、7欄、9欄及び11欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。
- ⑮ 5欄、7欄、9欄及び11欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）、当該指摘をうけた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑯ 6欄、12欄の「イ」は、建築基準法施行令第129条第3項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が確かめられた建築物のときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令129条の2第3項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が確かめられた建築物のときは「全館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「階避難安全検証法」の場合には、併せて階避難安全性能を確かめた階を記入してください。建築基準法第38条（同法第66条、第67条の2及び第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定による特殊構造方法等認定、同法第68条の25第1項の規定による構造方法等の認定又は建築基準法の一部を改正する法律（平成10年法律第100号）による改正前の建築基準法第38条の規定による認定を受けている建築物のうち、当該適用について特に報告が必要なものについては「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、その概要を記入してください。
- ⑰ 6欄の「ロ」、「ハ」及び「ニ」は、それぞれ該当する室がないときに「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ホ」は、「ロ」、「ハ」及び「ニ」以外の居室、廊下及び階段の用に供する部分について記入してください。
- ⑱ 12欄の「ロ」は、検査対象の防火設備について、チェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、防火扉、防火シャッター、耐火クロススクリーンについては、個々の扉又はカーテン部ごとにその枚数を計上し、その合計を記入してください。ドレンチャーについては、散水ヘッドの合計の個数を記入してください。「その他」の場合は具体的な内容と台数を記入してください。
- ⑲ 13欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑳ 13欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。指摘の概要を記入する場合にあっては、当該防火設備が設置されている区画の概要を明記してください。
- ㉑ 13欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）、当該指摘を受けた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ㉒ 各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は、14欄又は別紙に記載して添えてください。